



TITLE:

和歌山県自浜町で2012年と2013年の午後3時半以降に鳴いたクマゼミ  
(カメムシ目, セミ科)

AUTHOR(S):

久保田, 信

---

CITATION:

久保田, 信. 和歌山県自浜町で2012年と2013年の午後3時半以降に鳴いたクマゼミ(カメムシ目, セミ科). KINOKUNI 2013, 84: 17-18

ISSUE DATE:

2013-11-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/180732>

RIGHT:

© 和歌山昆虫研究会

## 和歌山県白浜町臨海地区で 再び鳴いたミンミンゼミ

*Hyalessa maculaticollis* is singing again at Rinkai, Shirahama, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

ミンミンゼミ *Hyalessa maculaticollis* は、和歌山県白浜町では山間部に限定して夏に鳴くが、白浜町臨海地区の海岸部でこれまでただ一度だけ、恐らく 1 個体が 2 日にわたり鳴いたことがある（久保田, 2011）。今回、再び同じ地区で、2013 年 9 月 5 日の 9 時半頃にミンミンゼミが 1 個体 1 回だけ鳴いた。これは前回より 2 年後ではあるが、全く同じ時期であった。この時期にはクマゼミもまだ鳴いているものの、盛りを過ぎていて、ごく少数の声しか聞こえず、ツクツクボウシの鳴き声が聞こえて始めており、夏から秋への季節の端境期にあたるといえる。今回の再度の記録により、標高の高い所に生息する森林性のミンミンゼミが、標高の低い平地へ出現する動きが白浜町で、今後もだんだん起こりうるかもしれない。

### 引用文献

久保田 信. 2011. 和歌山県白浜町臨海地区で初めて鳴いたミンミンゼミ. KINOKUNI, (80): 31.  
(くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)

## 和歌山県白浜町で 2012 年と 2013 年の午後 3 時半 以降に鳴いたクマゼミ（カメムシ目，セミ科）

Droning of *Cryptotympana facialis* (Hemiptera, Cicadidae) after at 3:30 p.m. in 2012 and 2013 in  
Shirahama town, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

我が国で最大種のクマゼミ *Cryptotympana facialis*（カメムシ目，セミ科）は夏季に出現し、早朝から鳴き始め、午前中が主に鳴く時間帯である。しかし、例外的な鳴き方もあり、和歌山県西牟婁郡白浜町で 2011 年には台風通過日の日の入り直前に鳴いた（久保田, 2011）。その後、西牟婁郡白浜町に所在する京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所構内で、2012 年 8 月の台風時でない日の日の入り前に 1 個体の連続鳴きがあった。続く 2013 年には 7 月後半に、連日のように何度も夕方方に鳴く声を聴いた（記録は取っていない）。

そこで、2013 年 8 月 1 日から 19 日まで、ほぼ毎日、15:30 以降にクマゼミが鳴いた記録をとった。これら 2 年間の記録をまとめて報告する。

## 2012 年の記録

2012 年 8 月 8 日晴れの日の夕方、普段は鳴かない 17 時過ぎより丁度一時間ほど次のように計 9 回鳴いた：17:19, 17:38, 17:49; 18:02, 18:05, 18:06, 18:11, 18:15, 18:17。

恐らく同一個体が 17 時から 18 時までには 11 ～ 19 分間隔で 3 回鳴いたが、18 時を過ぎると、次に鳴くまでの待ち時間が急に早まり、1 ～ 5 分間隔で 6 回鳴いたのが注目される。

## 2013 年の記録

8 月 1 日から 8 月 19 日までほぼ毎日（晴天続き）、15:30 以降の鳴きに焦点を当て記録した。この期間中は、午前中、セミしぐれが聞けた。以下、記録がとれたもの全て（12 日）を列挙する（注記がない場合は 1 回だけの単発鳴き）：16:06, 17:11, 18:11 (Aug. 1); 15:33, 15:51; 17:24 (Aug. 3); 18:47 (Aug. 4); 18:00 (3 回連続鳴き), 18:37 (Aug. 5); 15:32, 15:33, 15:38 (Aug. 6); 15:39 (2 回連続鳴き) (Aug. 7); 16:06, 18:38 (Aug. 8); 16:48, 16:49, 16:50, 16:52, 17:11 (Aug. 9); 15:36, 15:47; 15:52; 15:53; 15:54 (Aug. 10); 15:59, 17:16 (Aug. 11); 15:32 (Aug. 17); 16:48, 16:55, 16:56; 16:57 (Aug. 19)。

18 日間の調査期間中、1 日のうちで午後 3 時半以降に鳴いた総数は計 5 回以下で、多くはなかった。8 月 3 日から 11 日までの 9 日間は、毎日連続して 15:30 以降にクマゼミが鳴いたのは特記すべきである。なお、1 分間に 2 回以上の連続鳴きをした日は、上記に示したようにわずか 2 日であった（8 月 5 日と 7 日）。

以上のような今回の全記録の内、18 時を過ぎてからという一日の内で、遅い時間帯に鳴いたのは 4 日だけであったが（8 月の 1 日、4 日、5 日、8 日）、それらの時刻は 3 回が日の入り直前であり、照度が急激に落ちた時間帯であったのが注目される。いずれの場合も単発の鳴きであるので、生態的な意義は考えがたく、偶発的であろう。

## 引用文献

久保田 信. 2011. 台風 6 号直後の和歌山県白浜町で日の入り直前に鳴いた複数のクマゼミ（カメムシ目＝半翅目，セミ科）. KINOKUNI, (80) : 32.

（くぼた しん 西牟婁郡白浜町臨海 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所）